

2018年10月19日

株式会社 富士経済
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
 1番5号 PMO 日本橋江戸通
 TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>

広報課 TEL.03-3664-5697
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

自由度の高い曲面や異形なども注目される

車載ディスプレイ世界市場は2022年に7,184億円

2022年市場予測

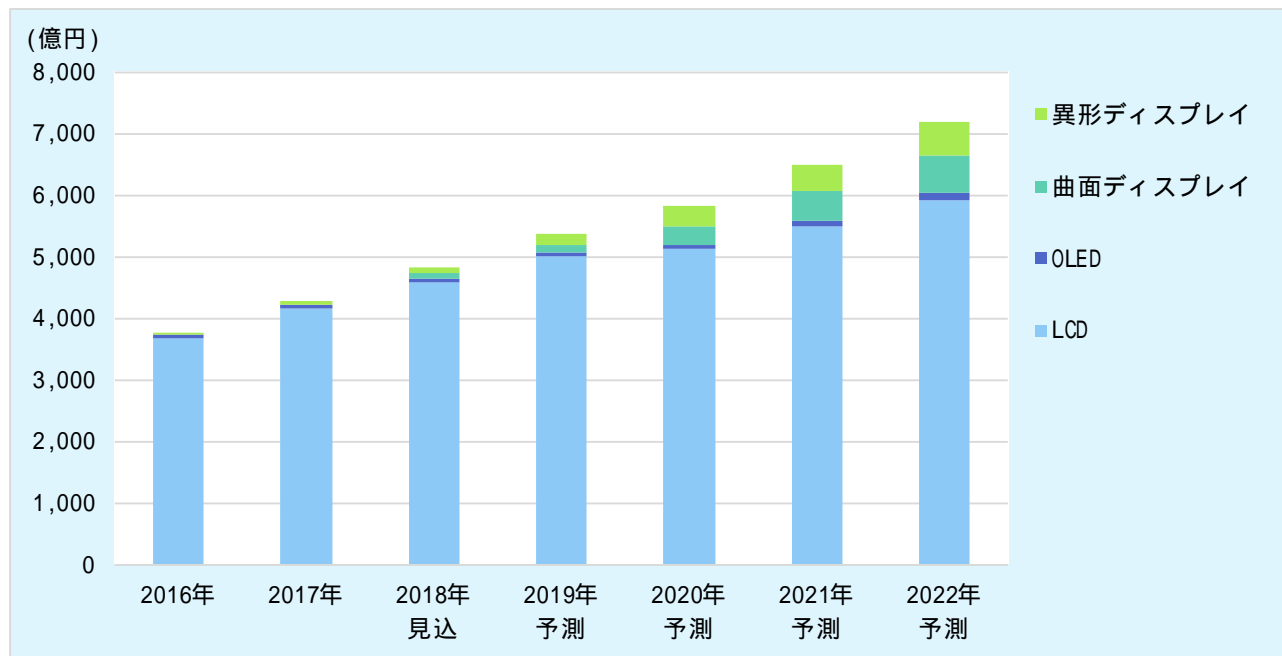
曲面ディスプレイ 600億円 18年に採用始まり急拡大、20年頃の新規参入により競合激化
 異形ディスプレイ 536億円 コストダウンで高級車での需要から搭載車種の広がり期待

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811）は、後方カメラ用モニタディスプレイの搭載や、意匠性を高めたディスプレイオーディオの増加、ADAS（先進運転支援システム）やHUD（ヘッドアップディスプレイ）のような先進技術を利用したシステムの採用によるディスプレイの搭載率増加が予想される一方で、車載用途の厳しい信頼性試験をクリアできる高いスペックが求められる車載ディスプレイの世界市場を調査した。

その結果を「2018 車載ディスプレイ/HMIと構成部材市場の将来展望」にまとめた。

この調査では、車載システムやディスプレイ、操作インターフェイス、ディスプレイ部材などの市場調査・分析に加え、次世代表示技術やディスプレイメーカーやタッチパネルメーカーの動向なども把握した。

<調査結果の概要：車載ディスプレイの世界市場>



2018年の車載ディスプレイ市場は前年比12.4%増の4,808億円が見込まれ、市場の95%以上をLCDやOLED（平面・四角形状のディスプレイ）が占めるとみられる。2022年には2017年比68.0%増の7,184億円が予測され、曲面ディスプレイや異形ディスプレイの拡大などにより、平面・四角形状のディスプレイの比率は84%になるとみられる。

LCDは、日本でのカーナビゲーションシステム、欧米でのディスプレイオーディオなどの搭載率の高さや、中国でのアフターマーケットにおけるカーナビゲーションシステムやディスプレイオーディオなどの普及により拡大しており、2018年は4,589億円が見込まれる。大手ディスプレイメーカーは自動車メーカーとの直接取引や高機能・高付加価値品の展開によりシェアを維持している。一方で中国メーカーが小型ディスプレイにおいて

安価な製品の拡販を進めており、急激にシェアを拡大させている。LCDはコストダウン要求が根強いことから、今後は緩やかな拡大が予想されるが、ADASの普及にともない運転情報などの表示機器としてCID (Center Information Display) など比較的大型なディスプレイの需要が増加するとみられ、2022年には5,925億円が予測される。

曲面ディスプレイはCID、異形ディスプレイはメーターを主用途に、12～15インチの大画面向けで採用されるとみられる。

曲面ディスプレイの世界市場

2018年見込	2017年比	2022年予測	2017年比
92億円		600億円	

LCDやOLEDの基板を加工し、湾曲させた車載ディスプレイを対象とする。

2017年の市場は僅少であったが、2018年には12インチ以上の大型ディスプレイがデザイン性の向上を目的に高級車で採用され、急拡大が予想される。ダッシュボードは曲面デザインが多いため、CIDでの採用を中心に、高級車向けやデザイン性を重視するEVのベンチャーメーカーの需要が期待される。

2020年前後に新たなメーカーの本格参入も予想され、2022年には600億円まで拡大すると予測される。

異形ディスプレイの世界市場

2018年見込	2017年比	2022年予測	2017年比
85億円	119.7%	536億円	7.5倍

一般的には四角形であるディスプレイを波型や円、穴あけなど自由な形状にし、デザイン性を大幅に高めた車載ディスプレイを対象とする。

欧州自動車メーカーが展開する高級車のメーター向けで採用されており、緩やかに需要が形成されている。2017年に新たなメーカーが参入しており、2020年以降に発売されるモデルでの採用に向け、メーカーの受注競争が本格化しつつある。これによりコストダウンも進むとみられ、現状の高級車に限られた需要からミドルクラスの車種での採用など、需要の裾野が広がると期待される。

<操作インターフェイス注目市場>

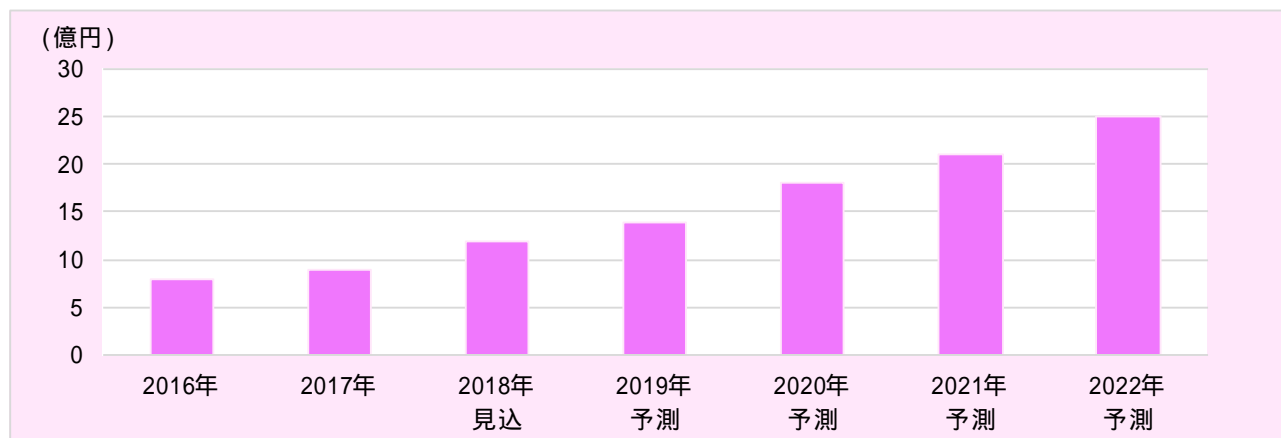
静電容量式タッチパネルの世界市場

2018年見込	2017年比	2022年予測	2017年比
1,299億円	115.8%	2,090億円	186.3%

車載ディスプレイで使用される静電容量式タッチパネルを対象とする。

CIDでは、スマートフォンのようなフリック、ピンチ/アウトといった滑らかな操作性が求められることから、低コストである抵抗膜式から静電容量式へ急激にシフトしている。現状では、エントリークラスや新興国のローエンドの車種で抵抗膜式の採用が続いているが、中長期的には静電容量式のコストダウンなどによりエントリークラスでも切り替わっていくとみられ、静電容量式タッチパネル市場は拡大を続け、2022年には2,090億円が予測される。

触覚デバイスの世界市場

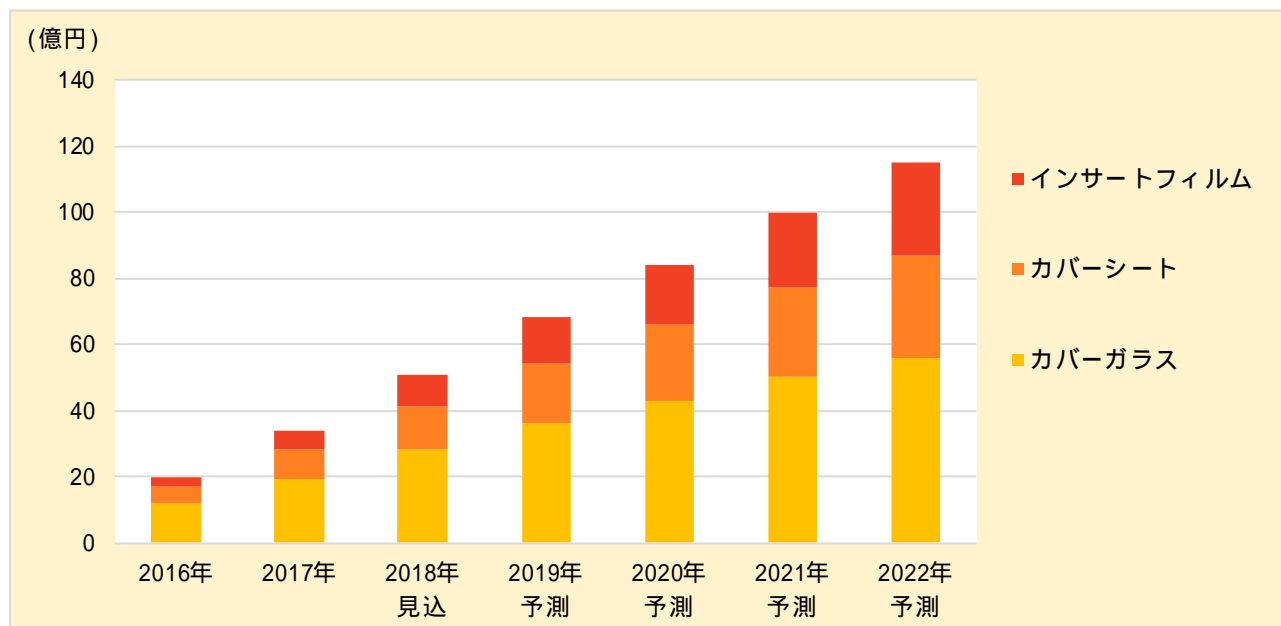


タッチパネルなどでの操作に対し、振動や動きなどでのフィードバックによって目視以外で操作状況を把握でき、操作性を向上させる車載ディスプレイ向け触覚デバイスを対象とする。

高級車におけるタッチパッド、タッチスイッチなどで採用されている。ユーザーによってはタッチパネルの利用によって指紋などでディスプレイを汚したくないニーズがあることから、タッチパッドとそれに伴う触覚デバイスの需要増加が予想される。触覚デバイスは車載用途では比較的新しいフィードバックシステムであり、新しい技術の導入に積極的な欧米自動車メーカーの採用が多い。セーフティ対策の一環として視認性の向上や触覚デバイスへのニーズも強く、中長期的には高級車だけでなく、大衆車への搭載が進んでいくとみられ、2022年には25億円が予測される。

<車載ディスプレイ部材注目市場>

主要カバーパネルの世界市場



ディスプレイのカバーパネルとして使用される、カバーガラス、カバーシート、インサートフィルムを対象とする。市場は車載ディスプレイの需要増加に伴い、拡大が予想される。

需要の中心となるカバーガラスは、カバーシートと比較し光沢、触感、表面硬度が高い。欧州自動車メーカーや、米国自動車メーカーが展開する高級感あふれるデザインを重視する車種などで採用されている。

カバーシートは樹脂であることから、カバーガラスと比較し安全性、加工性が高い。日本自動車メーカーはヘッドインパクト試験での要求が厳しいことから、ガラスではなくカバーシートを採用する車種が多い。

今後急拡大が予想されるインサートフィルムは、コックピットの流線形に合わせるようなデザイン性の向上を目的に開発された。欧州自動車メーカーが展開する高級車の2021年モデルへの搭載に向けて、CIDの大画面化とディスプレイ周りのシームレス化により曲面・異形ディスプレイのニーズが高まっており、インサートフィルムの採用が検討されている。日欧米において高級車や大型車、SUVのようなデザインにこだわる車種で需要が高まっていくとみられる。

事故の衝撃などで人間の頭部がインストルメントパネルに衝突した際の、頭部の保護性能を評価し、衝撃の安全性を確認するための試験

<調査対象>

システム	・CID ・電子ミラー	・メーター	・HUD
ディスプレイ	・LCD ・異形ディスプレイ	・OLED	・曲面ディスプレイ

操作インターフェイス	・ 静電容量式タッチパネル ・ 静電容量式タッチスイッチ	・ 抵抗膜式タッチパネル ・ タッチパッド	・ 曲面タッチパネル ・ 触覚デバイス
ディスプレイ部材	・ カバーガラス ・ 反射防止コーティング材 ・ メタルメッシュフィルム ・ 両面テープ ・ HUD用中間スクリーン ・ HUD用コンバイナー ・ 調光ガラス/フィルム	・ カバーシート ・ 耐指紋コーティング材 ・ 反射防止フィルム ・ OCR ・ HUD用凹面鏡 ・ 合わせガラス用高機能中間膜 ・ LEDバックライト	・ インサートフィルム ・ ITOフィルム ・ OCA ・ HUD中間膜用フィルム ・ HUD用平面鏡
次世代表示技術	・ ホログラム	・ 空中触覚デバイス	・ 透明ディスプレイ
ディスプレイメーカー	・ 5社		
タッチパネルメーカー	・ 9社		

<調査方法> 富士経済専門調査員による参入企業および関連企業・団体などへのヒアリングおよび関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間> 2018年6月～8月

以上

資料タイトル： 「2018 車載ディスプレイ/HMIと構成部材市場の将来展望」	
体	裁： A4判 342頁
価	格： 書籍版 150,000円+税 PDF+データ版 160,000円+税 書籍/PDF+データ版セット 180,000円+税 ネットワークパッケージ版 300,000円+税
発	行 所： 株式会社 富士経済
	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO日本橋江戸通
	TEL：03-3664-5811(代) FAX：03-3661-0165
	URL： https://www.fuji-keizai.co.jp/ e-mail： info@fuji-keizai.co.jp
調	査・編集： 東京マーケティング本部 第五部
	TEL：03-3664-5821 FAX：03-3661-9514
この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL： http://www.group.fuji-keizai.co.jp/	